

し合いができるわけです。そういう部落はないと思います。

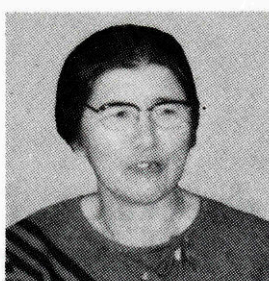
町長 みなさんが申されるのは昼間は集まりにくい。だから集まる間になると夜間になる。しかし、夜間になると遠くへ行きにくい。だから運動の輪が広がりにくいということですね。

婦人の学習は実生活あるいは、地域での課題を解決するためのものだと思います。地域の問題を解決するためには、どうしたらいいかということになります。それが部落の方と話し合うということが大切だと思います。

また、ある地域ではこういった問題をこのように解決したという映画がありますので、これを活用していただけたらと思います。

まず、課題を見つけることが大事ですね。

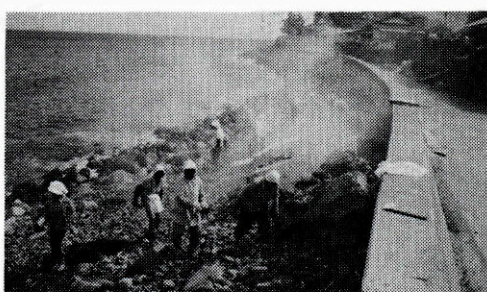
山本 婦人会集会の席などであれがしたいこれがしたいと意見が出るわけですが、それを実践活動に移すときになりますと、さとうしたらいいかといつもとまどってしまうのです。



浅山タミ子さん

浅山 婦人の方が何かの集いに参加するには、家族やご主人の理解が必要だと思います。

小林 勤めながらの婦人活動は時間的な問題から非常に難しいと思います。また、婦人会は自主活動です。でもっと盛り上がりがあるのもいいと思うのですが、今は、商工会婦人部とか、漁協婦人部などが活発な活動をなさっていますので、町婦人会全体の役割はどうなっているのかわからない状態なんです。ですからもっと強力的に活動してもらいたいと思います。



漁協婦人部活動

町長 漁業部落は家屋が密集していますから家屋が点在した農家部落に比べてまとまりがいいわけですね。

この二・三年は農家の部落について国の方針が農業部落を中心に、集団的な農業経営近代化の面に重点をおいて、指導をするというふううになってきたわけです。

転作等についても集団的なもの、つまり、部落単位ですがこれについては補助を出そうというところに

なっています。ですから部落で話をされるとか、計画をされるとかそういう面については町も今年から大々的に取り組んでいこうということになっています。

伊上では、貝川・綾古・須方の三カ所を六〇年度から取りかかるようにしています。

最近中畑においても急傾斜地の山間部のは場整備をしようとか一カ所だけ話がまとまったわけです。

具体的な申しますと、一つは農村地域共同整備事業といまして油谷町では宇津賀地区を代表に部落内の環境点検からみんなの話し合いでやるということ、一月から老人の方から高校生にわたって話し合い、部落の改善目標をつくり行政がやるものと地域がやるものとに区別し、緊急度の高いものから処理していくことにしています。もう一つは、農業集団育成対策事業といまして本郷・南方・広中・綾古・貝川・芝崎・中畑の七集落を予定しています。

これは地域農業の育成を計ることを目的にいかにか農業をやるべきかと、集団機械グループをつくるといった取り組みを行うわけです。

山本 かあちゃん農業が主体ですから町で労務センターといったものをつくってもらいたいんです。雇う人がなかなかいないわけですね。それで人手が必要な時に人を差し向けてもらえるといった組織があると幸甚です。

また、農地が不整形なので農作業がやりにくいので困っています。

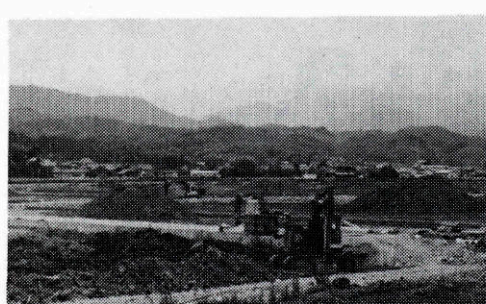
町長 ほ場整備は、久富・蔵小田・新別名地区において県営ほ場整備事業で二四〇ヘクタールを計画し、本年度は入丸沖工区の工事を進めています。

西嶋 婦人の学習は中央公民館が主体となってくるわけなんです。働いていますとどうしても集まる時間がとて遅くなるわけです。公民館活動が夜の二〇時までなわけなんです。そうするとすぐ時間がたちましてよく時間切れとなるわけなんです。ですから、その事情に応じて時間の延長をお願いしたいのです。

町長 私としては公民館をできるだけ利用してもらいたいと思っています。それが私の願いなんです。いつでも自分の学習のために使ってもらいたいのです。

夜の二〇時ということについては、管理上そのようになっているのだと思いますが、宿直の方もいますし必ずしも二〇時で閉めなければならぬというところはございません。実情に合わせてご利用願いたいと思います。

そして、人集めの問題とか、学習時間の問題が取り上げられておりますが、これは全国どこでもそういう問題があるようです。中央公民館だけで行事を行って、そ



県営ほ場整備事業

広田 そうなんです。私も勉強しようという気がありますから婦人学級に入会しています。畜産関



広田松江さん